

外務大臣表彰を大友院長が受賞しました

大友康裕院長が令和6年8月8日に外務大臣表彰を受賞しました。

大友院長は「医師として活動する傍ら、1987年に国際緊急援助隊医療チームに登録。以降、スーダン洪水（1988年）、イラン地震（1990年）、コロンビア地震（1999年）、インドネシア・ニアス島地震（2005年）、ネパール地震（2015年）等に参团。国立病院の医師として在ペルー日本大使公邸占拠事件（1995-96年）に派遣されるなど、長年に亘って災害救急医療に尽力。2011年に医療チーム総合調整部会長、2016年に総合調整部会アドバイザー、2019年に支援委員会委員長を歴任し、同チームについての助言や機能拡充を主導する等、医療チームの発展に大きく貢献した。」と認められたため、今回の表彰となりました。



提供：外務省（撮影：外務省報道課写真室）

